

## 特集：「企画系および併設運営メンバーに聞く」

—執筆—

伊賀インカレ副運営責任者：藤本 佳完（フジモト・ヨシマサ） 2002 年度大阪市立大学卒業

伊賀インカレ副運営責任者の藤本です。

副運営がお届けする伊賀インカレ実行委員紹介と題してお届けしていますが、字を見ての通り、この特集は、仕事や研究の合間をぬって運営準備をしている実行委員に対し、紹介とともに質問形式によりナマの声をお届けしようとする特集です。

「インカレの運営なんてシンドいわぁ」、「インカレ運営なんて嫌やわぁ」というお気持ちを持っている方も沢山いると思います。敬遠されるのも分かります。ですが、本稿で「インカレ運営ってシンドいけどめっちゃ楽しいでえ〜」、「運営者は忙しい中でも運営頑張ってるんでえ〜」、つてのをもっと知ってもらうことで、インカレを楽しんでいただけたら、更にはちょっとでもインカレ運営に興味を持って頂けたらと思います。

先月号では、特集：「運営役員メンバーに聞く」と題しまして、実行委員長、運営責任者、渉外責任者、広報責任者、人事責任者、宿泊・輸送担当にお話を伺いました。今月号は「企画系および併設運営メンバーに聞く」と題しまして、企画系運営メンバーである企画責任者と演出パートチーフに、併設運営メンバーである一般併設担当、トレイル O チーフ、MTB-O チーフにお話を伺いました。先月号を見ていない方、先月号を含めて今月号もどうぞお楽しみ下さい。

### 企画系運営メンバー① 企画責任者 福井 樹氏(京都大学卒業)

Q1. 企画責任者というお仕事は、他の大会でも余り見かけられない役職ですが、具体的にどういったお仕事されているんでしょうか？

大きく分けて二つの仕事があります。  
一つは、名前の通り、大会を盛り上げる企画の立案で

す。今回のインカレでは、MTBO や、総合ポイント”山川克則杯”といった新しい企画を立ち上げました。

もう一つは、報道対策の仕事です。写真入りの選手紹介を作成することで、報道関係者への露出度をアップして行きたいと思います。

Q2. 今回のインカレの目玉は？！ 企画面の目玉は？！

良いテレインと良い地図。そして、良いコースです。さらに、学生以外の方が来ても楽しめる企画の数々！そして、良質な温泉である”榊原温泉”。

企画面の目玉はずばり、MTB-O です。

Q4. 企画責任者として、当日への抱負をお願いします。

良い天気になることを祈ってます！！！！

### 企画系運営メンバー② 演出チーフ 許田 重治氏(京都大学卒業)

Q1. 演出のお仕事って、具体的にどういったお仕事されているんでしょうか？

演出は大きく分けて二つの仕事があります。実況と速報ボードへの掲示です。実況は、中間ラジコン通過やゴールの情報を基に、より競技が盛り上がるように行います。有力選手の事前調査ももちろんですが、その場を盛り上げるとっさの機転なんかも必要かも知れなくてすね。速報ボードはその名の通りの仕事です。

Q2. 演出の面白みってどうゆう所でしょうか？

演出パートは、観戦を盛り上げるためにあるのですが、選手のゴールを目の前でずっと見ていられるわけで

すから、ある意味運営者自体も観戦者と言えるかも知れません。僕の例はちょっと特殊ですが、コースプランナーかつ演出チーフだとまるで競技者が自分の手の中で踊っているような… (笑)

Q3. 演出チーフとして当日に向けての意気込みをお願いします。

チーフとしては、事前にパート員がしっかり仕事できるように準備して当日はあわてずのんびり全体管理している予定です。1年に1度の大会イベントを盛り上げられるよう頑張ります。

### **併設運営メンバー① 一般併設担当 上野 信氏(大阪市立大学卒業)**

Q1. 一般併設というパートがインカレにはありますが、具体的にはどんなお仕事をされるのでしょうか？

インカレを学連加盟員以外の方々に楽しんでいただくのが仕事です。学生以外のフットO (クラシック・リレー)・トレイル O、MTB-O の各競技の広報・エントリーなどの事務作業の全般を担います。専ら事務で競技面には殆ど関わりません。

Q2. 一般併設担当として、当日に向けての抱負をお願いします。

「併設」という名の通りに「オマケ」になってしまわないようにしたいです。参加者には学生のレースと自分のレースを楽しみ、またフットO・トレイルO・MTB-O のオリエンテーリングのバラエティを楽しんでもらいたいです。インカレの主役は学生ですが、助演男優賞を目指します！

### **併設運営メンバー② MTB-Oチーフ 相川 創氏(京都大学卒業)**

Q1. 今回のインカレで初めてMTB-Oというのが行われますが、色んなところで説明がされているとは思いま

すが、今一度、MTB-Oの説明を簡単をお願いします。

マウンテンバイクで、オリエンテーリングをすることです。え？簡単すぎ？ とはいっても、フットのように山の中を縦横無尽にというわけにはいかず、既存の山道を使います。競技としてはスキーO に近いですね。一昨年から世界選手権やワールドカップなどの国際大会にも日本チームを出しているんですよ。

Q2. MTB-O のどういう点が面白いのでしょうか？ その醍醐味とかを教えてください。

まず、マウンテンバイクそのものが面白い。それを移動手段として使うのがひとつ。もうひとつは高速のナビゲーションの醍醐味ですね。コース自体は簡単なのですが、マウンテンバイクで限界までスピードを上げていくことで、非常にシビれるナビゲーションが楽しめます。スピードなら、間違いなく最速のOLです。

Q3. MTB-O パートの責任者として、当日に向けての抱負をお願いします。

インカレでやるのは初めての試みですからね。自分も戸惑っているし、周りも戸惑っているんじゃないかなあ。でも、何としても成功させて、MTBO の面白さを味わう人を増やしたいですね。青山高原というテラインも、そざいとしては難しいけれど料理しがいのあるところですよ。

### **併設運営メンバー③ トレイルOチーフ 山口尚宏氏(筑波大学卒業)**

Q1. ここ最近のインカレではトレイル O というのが行われますが、色んなところでトレイルOの説明がされていますが、今一度、トレイルOの説明を簡単をお願いします。

トレイル O は体力不要で地図読みと正確さを競う競技です。地図のOの位置に対応する現地の複数のフラッグの位置を当てます。フットO と異なる力を問う競技とし

て、障害者と同じ条件で競う競技として注目されています。

Q2. トレイル O のどういう点が面白いのでしょうか？

その醍醐味とかを教えてください。

精緻な地図読みとプランナーとの頭脳比べが落ち着いてできる点が魅力です。

Q3. トレイル O の責任者として、当日に向けての抱負を

お願いします。

トレイル O の責任者として、ひとりでも多くの方に楽しんでいただければ幸いです。狭く制約があるトレインの中で精一杯のコースセットをしました。まずは一度やってみてください!!

### **最後に副運営から…**

今月の特集は、インカレを盛り上げようと裏で競技面以外で頑張っておられる企画系運営メンバーと、一般併設としての扱いといえども今回の大会の目玉でもある MTB-O の担当者、ここ数年普及しつつあるトレイル O、それらを全般的に扱う一般併設担当にお話を伺いました。

正直なところ、今回の大会の目玉の MTB-O は僕も是非やってみたいです。MTB-O の大会、トレイル O の大会ともにフット O と一緒にする大会なんて滅多にありません。この機会に是非一度体験してみたいかでしょうか？

今月の特集、どうでしたか？ インカレを盛り上げようと企画面で頑張っている姿とインカレは学生のための大会であっても、面白い大会にさせようと一般併設で MTB-O やトレイル O で頑張っている運営者の姿、十分お分かり頂ける内容だったではないでしょうか？

来月号は、特集：「競技系運営メンバーに聞く」と題しまして、競技責任者を始め、コースプランナー、コントローラー、調査責任者、マップの方々に細心の注意を払いながらお話を伺う予定です。乞うご期待下さい!!